

2019/20年度海外派遣学生募集要項（二次募集）

広島大学短期交換留学（HUSA※1）プログラム及び大学交流留学コンソーシアム（USAC※2）プログラムによる海外派遣学生を下記のとおり募集します。

※1 HUSA (Hiroshima University Study Abroad) とは
学部生・大学院生が本学に在籍しながら、海外の協定校に半年間又は1年間留学できるプログラムです（一部、学部生のみが対象）。留学先では、現地の学生と同じ授業を受講し、取得した単位を本学での単位として認定することも可能です。

※2 USAC (University Studies Abroad Consortium) とは
元々は、米国の学生が世界各国の大学で語学・文化研修を受けるためのプログラムでしたが、本学もこのコンソーシアムに参加することで、コンソーシアム参加校の一部へ学生を派遣することが可能になりました。（一部、学部生のみが対象）留学期間については、HUSAと同様の扱いです。

◆全プログラム、留学先では授業料不徴収です（広島大学には授業料を納めます）。

1. 派遣先大学及び派遣可能人数について

別紙「協定校一覧」のとおり

2. 応募資格

以下のすべてに該当する者を対象とします。なお、海外渡航・在留経験及び過去に本学が実施した海外派遣留学プログラムへの参加経験は問いません。

- 1) 2018年度以前に本学の学部生又は大学院生としての在籍暦があり、応募時に本学に在籍している学部生又は大学院生（休学中の者は除く）で、留学終了時まで本学に在籍できる者
- 2) 本学における学業成績が優秀で、人物ともに優れている者
- 3) 留学の目的及び計画が明確で、海外の協定校等への留学を通じて、本学での学修と同等又は同等以上の教育効果が期待できる者（派遣先大学での専攻分野は問わない）
- 4) 留学終了後、再び本学に戻り、学業を継続する者
- 5) 派遣先大学所在国への入国に当たり、「留学」に必要な査証の取得が確実な者

3. 派遣期間

2020年春学期の1学期間

（ただし、オセアニア地域は2020年2月からの1学期間又は1年間）

※申請書に留学希望大学及び留学希望期間を記載することとしています。提出後の変更は原則として認めません。

4. 奨学金

本プログラムによる派遣候補者として選考された場合、奨学金（返還不要の給付型）の受給候補者として、各種団体への推薦を行う場合があります。受給候補者は、学内選考結果及び各奨学金の推薦要件に基づき選出します。詳細については、派遣候補者に対して別途お知らせします。

なお、これらの奨学金を受給した場合、各種団体が課す事前・事後課題、留学成果報告及び調査・アンケートへの協力等が義務付けられる場合があります。

また、大学あて募集のあった海外留学に係る奨学金情報は随時「もみじ Top」への掲載又は「My もみじ」のお知らせ掲示等を通じて周知します。

<募集・イベント情報（海外留学・奨学金など）（もみじ Top 内）>

<https://momi-ji.hiroshima-u.ac.jp/momi-ji-top/learning/study-abroad.html>

その他、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の以下のページ（海外留学奨学金検索サイト）に海外留学のための奨学金情報が掲載されておりますので、ご参照ください。

<海外留学奨学金検索サイト>

https://ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp/scholarship_abroad/page?action=swfglsearchjasso

※本募集で選考された派遣学生への日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）奨学金による支援予定はありません。

5. 応募書類

- 1) 海外派遣学生申請書（所定の様式） **※全て PC で入力してください（手書き不可）**
- 2) 留学計画書・指導教員の所見（所定の様式） **※留学計画書は、全て PC で入力してください（手書き不可）**
- 3) 広島大学の学業成績証明書（応募時における在籍課程のもの。ただし、通年評価等により成績が出ない場合、前年度の在籍課程のもの。広島大学の学業成績証明書が提出できない場合、応募資格はありません。）
- 4) 成績表（取得方法：「もみじ」にログイン、成績、確定成績確認、表示範囲「過去を含めた全成績」、表示させる成績「全て」にチェックし、PDF 出力をクリック、PDF を印刷）
- 5) 語学能力を確認できる書類（①～⑥のうち各自応募に必要なもの。詳細は別紙を参照。）
 - ①HUSA プログラム英語圏に応募の場合、非英語圏に英語で応募の場合、又は USAC プログラムに応募の場合：原則として TOEFL iBT 又は IELTS のスコアレポートのコピー。TOEIC (L&R) 又は実用英語技能検定試験の結果の取り扱いについては別紙を参照。
 - ②中国語圏の大学に中国語で応募の場合（USAC プログラムを除く）：中国語検定又は HSK（漢語水平考試）の合格証書（認定証書）のコピー
 - ③ドイツ語圏の大学にドイツ語で応募の場合（USAC プログラムを除く）：ゲーティンステイテュート又はドイツ語技能検定の合格証書（認定証書）のコピー
 - ④フランス語圏の大学にフランス語で応募の場合（USAC プログラムを除く）：TCF（フランス国民教育省認定公式フランス語学カテスト）、DELF/DALF（フランス国民教育省認定フランス語資格）又はフランス語技能検定の合格証書（認定証書）のコピー
 - ⑤韓国語圏の大学に韓国語で応募の場合（USAC プログラムを除く）：TOPIK（韓国語能力検定試験）又はハングル能力検定の合格証書（認定証書）のコピー
 - ⑥スペイン語圏の大学にスペイン語で応募の場合（USAC プログラムを除く）：DELE（スペイン語認定証）又はスペイン語技能検定の合格証書（認定証書）のコピー

※各語学能力試験・検定等の結果の受領が書類提出締切に間に合わない場合、受験済みであることが分かる書類の写しをもって仮申込をすることができます。

6. 応募書類提出先及び締切

応募書類提出先：国際室国際部国際交流グループ 留学交流担当（学生プラザ2F）

【霞キャンパス】霞国際室（基礎・社会医学棟1階）

【東千田キャンパス】東千田地区支援室（学生支援担当）

書類提出締切：2019年6月28日（金）17：00（厳守）

7. 選考方法

- 1) 応募書類（留学計画書，学業成績，語学能力）及び面接試験の結果に基づき，希望留学先及び期間を考慮の上，派遣候補者の選考及び派遣先大学を決定します。
- 2) 選考終了後，本学から協定校等へ派遣候補者の推薦を行います。派遣の可否については協定校等が最終決定を行います。

8. 応募後の流れ（予定）

2019年7月中旬	面接試験
2019年8月上旬	協定校等への推薦者決定
8月末～	協定校等への申請手続き（時期は協定校により異なる）
10月	出発前オリエンテーション
11月	協定校等からの受入許可書受領（時期は協定校により異なる） 各自留学の準備（査証申請，航空券手配，現地情報の収集等）
12月	海外渡航リスク管理セミナー（必ず出席してください）
2020年1月～2月	各自留学先大学へ出発
留学終了後	留学成果報告書等の提出，報告会等での発表等

9. 留学中の学籍上の取扱いについて

本プログラムにより海外留学する場合は，事前に「留学願」を所属学部・研究科の学生支援担当に提出の上，必ず学長の許可を得なければなりません（併せて，渡航前に「緊急連絡先届」を提出する必要があります。）。この場合，派遣先大学等での修学は本学の教育課程の延長上にあるものとして考えられ，留学期間は本学の在学期間に参入されます。そのため，本学に所定の授業料を納付しなければなりません。

10. 留学中の学修成果に基づく単位認定申請について

留学中に派遣先大学等で修得した単位等の学修成果については，留学前後の必要手続きを経て，本学の授業科目の履修により修得したものとみなされ，単位認定される場合があります。

ただし，必ずしもすべての学修成果が認定されるわけではありませんので，単位認定を希望する場合は，留学前に所属学部・研究科の学生支援担当，指導教員・チューターと相談の上，必要手続きを確認してください。

1 1. 海外留学に係る安全管理について

- 1) 留学中の安全意識向上のため、渡航前に本学が開催する「海外渡航リスク管理セミナー」や、プログラム参加学生を対象としたオリエンテーションには必ず出席してください。また、「外務省海外安全ホームページ」等を活用の上、渡航先の情報収集を渡航前だけでなく、渡航期間中も行ってください。

【外務省 海外安全ホームページ】

<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

- 2) 旅券法に基づき、日本国籍を持つ者が3か月以上日本国外に滞在する場合は、「在留届」を在外公館に提出することが義務付けられています。「在留届」は滞在先での危機発生時の安否確認等に利用されますので、渡航後速やかに手続きを行ってください。

【外務省渡航登録サービス（たびレジ、在留届電子届出システム ORRnet）】

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

- 3) 渡航中の安否確認のため、本プログラムにより派遣される学生には、チューター又は指導教員、所属学部・研究科の学生支援担当及び国際交流グループへの定期的な連絡が義務付けられます。

- 4) 本プログラムにより派遣される学生は、本学指定の海外旅行保険（原則、自己負担。5か月間で6万円程度。）への加入が義務付けられます。また、派遣先大学等が別途指定する保険への加入を求められる場合があります。

- 5) 派遣先国・地域によっては、入国に当たり予防接種を受けることが義務付けられる場合や、推奨されている場合があります（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

【世界の医療事情（外務省ホームページ）】

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

【厚生労働省検疫所 FORTH (For Travelers' Health)】

<http://www.forth.go.jp/index.html>

【海外旅行の健康管理 -感染症対策-（広島大学保健管理センターのページ）】

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/health/gentei/kansenkaigai.html>

【その他、参考 URL（広島大学保健管理センターのページ）】

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/health/kansencenter1409.html>

- 6) 自然災害や国際情勢等の事情により、派遣の中止や派遣期間の変更が生じることがあります。また、留学中であってもこれからの事情により帰国を命ずることがあります。いずれの場合も既に支払済みの費用や帰国等に係る費用等については、原則、派遣される学生の負担となります。なお、本学では、外務省海外安全ホームページの「海外危険情報」に基づき、学生の海外派遣の判断を行います。

- 7) 海外生物サンプルの取得や研究には、生物多様性条約と名古屋議定書に基づく ABS (Access and Benefit Sharing) 手続きが必要です。派遣先大学等において該当する教育研究活動を行う場合は、指導教員とも相談の上、必要手続きを行ってください。

【ABSについて（ABS 学術対策チームのページ）】

<http://www.idenshigen.jp>

- 8) その他、海外留学に係る安全管理は、本学作成の「海外渡航リスク管理マニュアル（学生編）」、外務省発行の「海外安全 虎の巻」等に基づく対応が求められます。

【海外渡航リスク管理マニュアル（学生編）】

<https://momi.ji.hiroshima-u.ac.jp/momi.ji-top/learning/risk-kanri.html>

【海外安全 虎の巻（外務省発行）】

http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph_01.html

12. その他

- 1) 本プログラムによる派遣の可否については、最終決定は協定校等の決定によるため、本学から協定校等への推薦後、派遣不可となる可能性があります。また、推薦後に応募資格を満たさなくなった場合、推薦を取り消す場合があります。
- 2) 語学条件は専攻分野によって異なる場合がありますので、協定校のホームページ等で条件を確認した上で、応募してください。
- 3) 大学院生で、協定校等の教員の下での研究指導を目的とした留学を希望する場合は、本学の指導教員を通じて留学を希望する大学の教員と事前相談を行った上で、面接試験実施日までに受入承諾を得てください。また、協定校等によっては研究留学を認めない場合もありますので、希望する場合には事前に国際交流グループに確認してください。
- 4) 旅券の取得、査証申請や航空券手配等、渡航に係る必要手続きについては、各自の責任で計画的に行ってください。旅券又は査証が取得できず、渡航ができなくなった場合、協定校等から受入許可が取り消される場合があります。この場合、本学は責任を負いません。
- 5) 留学終了後、再び本学に戻り学業を継続することについて問題がないかどうか、所属学部・研究科の卒業・修了要件を確認してください（卒業・修了要件単位を留学前に修得している場合、修業年限を超えて留学することができないことがあります）。
- 6) 派遣学生は、留学終了後1か月以内に「留学成果報告書」を作成の上、協定校等から発行される学修成果に関する証明書（学業成績証明書又は修了証）と併せて国際室国際部国際交流グループへ提出することが義務付けられます。また、学内又は学外で開催される留学成果報告会等での発表、本プログラムの事業評価に関する調査・アンケートへの回答、協定校等からの留学生及び海外留学を希望する学生への支援並びに広報活動等に全面的に協力いただきます。

<留学・海外渡航に関する情報収集について>

○日本学生支援機構（JASSO）海外留学情報ページ

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>

○外務省 海外渡航・滞在関連情報

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>

13. 問い合わせ先

・申請手続について

○国際室国際部国際交流グループ 留学交流担当（学生プラザ2F）

メール kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

電話 082-424-6188

・留学先での学修・単位互換について

○森戸国際高等教育学院 堀田 泰司 教授

メール hotta@hiroshima-u.ac.jp

電話 082-424-6284

○森戸国際高等教育学院 恒松 直美 准教授

メール ntsunema@hiroshima-u.ac.jp

電話 082-424-6279

・卒業・修了要件及び単位認定申請について

○所属する学部・研究科の学生支援担当

○HUSA ホームページ <http://hiroshima-u.jp/husa>

協定校一覧

2019/20年度HUSA(二次募集)派遣可能大学一覧

★語学力に関する条件は、協定校の募集要項等を各自で確認してください。

国・地域	大学名	対象学生	募集人数	学期区分 (春学期)
アメリカ合衆国	ミネソタ大学	学部生のみ	1	1月-5月
	フロリダ州立大学	○	2	1月-5月
カナダ	セイント・メアリーズ大学	○	1	1月-4月
メキシコ	メキシコ自治大学	○	5	1月-5月
コロンビア	コロンビア国立大学	○	2	2月-6月
イギリス	シェフィールド大学	学部生のみ	7	2月-6月
	カーディフ大学	学部生のみ	4	1月-6月
	マンチェスター大学	学部生のみ	2	1月-6月
オーストリア	グラーツ大学	○	4	3月-6月
オランダ	アムステルダム大学	学部3年生以上	1	2月-6月
スウェーデン	リンシューピン大学	学部3年生以上	4	1月-6月
	マルメ大学	○	4	1月-6月
スペイン	CEUカルデナル・ヘレラ大学	○	1	2月-6月 (キャンパスにより異なる)
	ロヴィラ・イ・ヴィルジリ大学	○	1	2月-6月
ドイツ	チュービンゲン大学	○	2	4月-7月
	オスナブリュック大学	○	4	4月-9月
	ハンブルグ大学	○	2	4月-9月
	ザールランド大学	学部2~4年生	2	4月-7月
	ヴィアドリナ欧州大学	○	4	4月-7月
フィンランド	ユヴァスキュラ大学	○	6	1月-5月
フランス	リヨン第3大学	○	1	1月-5月
ロシア	トムスク工科大学	○	3	2月-6月
	トムスク教育大学	○	2	2月-7月
	オレンブルク国立大学	○	5	2月-7月
台湾	国立中央大学	○	2	2月-6月
	国立清華大学	○	2	2月-6月
	国立中山大学	○	4	2月-6月
	輔仁大学	○	4	2月-7月
香港	香港中文大学	○	2	1月-5月
	香港城市大学	○	4	1月-5月

協定校一覧

2019/20年度HUSA(二次募集)派遣可能大学一覧

★語学力に関する条件は、協定校の募集要項等を各自で確認してください。

国・地域	大学名	対象学生	募集人数	学期区分 (春学期)
中華人民共和国	北京師範大学	○	3	2月-6月
	大連理工大学	○	1	3月-7月
	華中科技大学	○	5	2月-7月
	温州大学	○	2	3月-7月
	武漢大学	○	4	2月-7月
	吉林大学	○	2	3月-7月
	西安交通大学	○	2	2月-6月
	西南政法大学	○	5	2月-6月
	東北大学	○	2	3月-7月
	重慶大学	○	2	2月-7月
大韓民国	慶北大学校	○	5	3月-6月
	嶺南大学校	○	5	3月-6月
	韓国教員大学	○	4	3月-6月
	済州大学校	○	2	3月-6月
	釜慶大学校	○	2	3月-6月
インド	インド工科大学マドラス校	○	2	1月-5月
インドネシア	バンドン工科大学	○	5	1月-5月
	ダルマプルサダ大学	○	2	2月-7月
シンガポール	南洋工科大学	学部生のみ	1	1月-5月
タイ	チュラーロンコーン大学	○	3	1月-4月
マレーシア	マラヤ大学	○	2	2月-7月
オーストラリア	フリンダース大学	○	1	2月-6月
	ニューサウスウェールズ大学	○	5	2月-6月, 7月-11月

【備考】

- 「対象学生」欄が○になっている協定校は、学部生・大学院生の派遣が可能です。ただし、「研究」を目的とした大学院留学を希望する人は応募前の確認が必要です(募集要項「12. その他」参照)。
- 語学条件は、授業のレベルや専攻分野によって異なります。大学院レベルの学生や希望の専攻分野が決まっている学生は、協定大学のホームページ等で語学要件を確認してから応募してください。
- 中国語圏の大学では概ね中国語検定準4級又はHSK2級の学生は語学研修コースを履修します。
- 最新の募集要項は以下のURLからダウンロードできます。ただし、協定校によっては、2019/20年度の募集要項を公開していない大学もあります。そのため募集人数や語学要件は変更になる可能性があります。これらの大学については、協定校から最新の募集要項が公開され次第、随時更新していきます。

HUSAホームページ>応募について>協定大学の紹介>表の右欄(交換留学情報)からダウンロード可
https://www.hiroshima-u.ac.jp/husa/applyprocedure/partnership_intro

2019/20年度USAC派遣可能大学一覧(予定)

募集人数:7名(1学期)

国・都市名	大学名	開講月
		春学期
アメリカ Reno	Intensive English Language Center, University of Nevada, Reno	○ 1~5
アメリカ Idaho	Intensive English Language Center, University of Idaho	○ 1~5
ブラジル Florianópolis	Universidade Federal de Santa Catarina	○ 1~5
チリ Santiago	Universidad Andrés Bello	○ 1~5
中国 Shanghai	Shanghai University	○ 1~5
フランス Lyon	University of Lyon 2	○ 1~5
フランス Pau	University of Pau	○ 1~5
ドイツ Lüneburg	Leuphana University, Lüneburg	○ 1~4
インド Bangalore (Bengaluru)	Christ University	○ 1~5
イタリア Reggio Emilia	University of Modena and Reggio Emilia	○ 1~5
イタリア Viterbo	Università degli Studi della Tuscia	○ 1~5
ウルグアイ Montevideo	Universidad ORT	○ 1~5
スペイン Bilbao/Getxo	University of the Basque Country	○ 1~5
スペイン Madrid	Universidad Rey Juan Carlos	○ 1~5

【備考】

1. USACプログラムは通常、語学研修プログラムです。
2. 大学院生も派遣可能ですが、履修できる授業に制限があります。開講授業等の詳細は、USACのホームページで確認してください。
3. 語学力に関する条件は、USACの募集要項(※)を各自で確認してください。
※HUSAホームページ(以下のURL)よりダウンロード可能
https://www.hiroshima-u.ac.jp/husa/applyprocedure/partnership_intro

【参考】

USACプログラム情報 (<https://usac.edu/>)

HUSA 応募のための語学試験の受験について

2019-20 年広島大学短期交換留学（HUSA）プログラム（二次募集）への応募に必要な語学試験の受験について、注意事項をお知らせしますので、応募を検討している人は、以下をよく読んで準備をしてください。

応募の際に提出可能な語学試験（HUSA ウェブサイト）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/husa/applyprocedure/languagegetests>

- HUSA の申請締切までに試験結果が確認できない場合、受験したことが分かる書類（受験票等）のコピーを提出し、正式な結果を受け取り次第、そのコピーを提出してください。2019年7月中旬（面接選考）までに結果を提出できる試験のみ提出を受け付けます。
- 2019年6月28日（申請締切予定）から2019年7月中旬（面接選考）の間に有効期限が切れるスコアについては、選考資料の対象になりませんので、提出を受け付けません。
- 学内選考で推薦が決定した後、協定校への申請書類提出までの間に有効期限が切れるスコアについては、各自の責任において、それぞれ協定校への申請締切までに新たにスコアを取得してください。協定校の定める基準を満たさない場合、推薦は取り消しになります。
- IELTS General Training Module テスト受験結果は認めません。
- 本学が実施する TOEIC IP テスト（団体特別受験制度）の受験結果も受け付けます（本学以外の団体が実施する IP テストの受験結果は受け付けません）。
- 英検の結果を提出する場合は、必ず Reading, Listening, Writing, Speaking の4技能についての CSE (Common Scale for English)スコアも提出して下さい。CSE スコアについては次の URL を参照して下さい：<https://www.eiken.or.jp/cse/>
- 協定校の学科、コースによって利用できる試験の種類や求められるスコアは異なります。HUSA ウェブサイト掲載の語学試験は学内選考に使用できる試験ですが、協定校によっては証明として認められないものもあります。各協定校の定める基準については HUSA ウェブサイトの「応募について>協定大学の紹介」のページから「交換留学情報（英文）」をご覧ください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/husa/applyprocedure/partnership_intro
- 語学試験の結果は、複数提出することができます。

（提出例）

（韓国の大学に応募する場合または希望派遣先に韓国語圏と英語圏の大学が入っている場合）

2019 年度第 52 回「ハングル」能力検定受験票のコピー＋TOEFL オンライン結果表示画面のコピー

（上級の語学試験の結果を待っている場合）

2019 年度春季実用フランス語技能検定 3 級受験票のコピー＋実用フランス語技能検定 4 級合格証書のコピー

【HUSA プログラムに関する質問】

国際交流グループ（留学交流担当） 学生プラザ 2F

Tel: 082-424-6188

E-mail: kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp